

2024年7月31日(水)

Establishment of tongue microbiota by 18 months of age and determinants of its microbial profile.

Kageyama S, Ma J, Furuta M, Takeshita T, Asakawa M, Okabe Y, Yamashita Y.

mBio. 2023, 14:e0133723

[生後18か月までに確立する舌の微生物叢とその細菌構成に影響する因子](#)

生後すみやかに生じる口腔内細菌の定着は、口腔細菌叢の確立に重要な役割を果たすと考えられている。本研究では、18か月健診時に乳児216人から採取した舌スワブサンプルと、4か月健診時に乳児とその母親から採取したサンプルを調べ、比較を行った。本研究は、舌の細菌叢が生後4か月から18か月の間に早期発達を遂げ、成人の特徴を示す2つのタイプの細菌叢に収束し、*S. salivarius* または *Neisseria* 属が優勢であることを示した。一方で乳児期に多く見られる細菌種が多く残存する乳児型細菌叢を示す18か月児もみられた。興味深いことに、これらの分岐は、卒乳の状態や、甘味飲料、スナック菓子、果物の食事頻度、または養育者との食器の共有の有無によって強く左右されたことから、この時期の食習慣や生活習慣が口腔細菌叢の確立に影響を及ぼす可能性が示唆された。これらの知見は、口腔細菌に起因した疾患に対する新たな予防手法を確立するへの礎となる可能性がある。

論文紹介者: 東京歯科大学 小児歯科学講座・講師・櫻井敦朗